まちの話題

長木小ゲートボール

長木小学校には県内でも珍しいゲートボールクラブがあります。

▲お年寄たちは手とり足とりして指導します

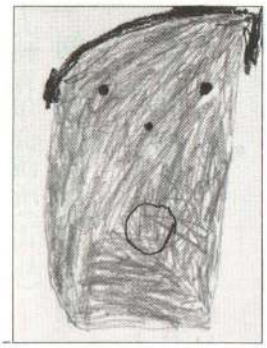
同小学校では、昨年の春、正課クラブの希望を取りまとめたところ「ゲートボール」を希望する児童がたいへん多くいました。しかし、指導者がいなくて困っていたところ、話を聞いた地域の老人クラブが協力を申し出て四月から実施することができました。

このクラブには、四、五年生を中心に二十二人が参加、お父さんやお母さんに手伝ってもらいながら作ったユニークなステックを使いながらゲートボールの練習をしています。クラブを担当している大沢先生は、「ゲートボールは初めてで、生徒といっしょに練習しています。ゲートボールがこんなにむずかしいとは思いませんでした」。また子供たちは、「第一ゲートを通過させることがたいへんむずかしかったんですが、おじいちゃんやおばあちゃんの指導のおかげで、今ではなんとか通過できるようになりました。早く、おじいちゃんやおばあちゃんと試合をして勝ちたいです。また、私たちは、他流試合をすることが目標なので、自分たちで作ったステックではなく、本物の用具がほしいです」と話していました。

このクラブを指導している上代野老人クラブ員は、「子供たちは、たいへんまじめで上達が早いんです。来年は、お父さんやお母さん、また子供たちといっしょに三世代交流ゲートボール大会に参加してみたいものです」と、子供たちの上達ぶりに目を細めていました。

ちびっこギャラリー おとうさん

雪沢保育所



はたけやまとものりくん
〈大好きなおとうさん〉

いしださとみちゃん
〈いつも笑顔のたえないおかあさん〉

なみおかとおるくん
〈おとうさん早くケガがなおりますように〉

むかしばなし

鳳凰山にまつわる話

鳳凰山に玉林寺があったころ、和尚を殺した猫が和尚になりすまして檀家まわりをした。油揚げを好むことから正体が割れ、（一説には、風呂に入っているときに影が猫に見えたともいう）、腕自慢の武士が何人も寺に乗り込んだが、返り討ちに合い、なかなか退治できなかった。ある時、諸国漫遊の武士が見事討ち取ったという。また、鳳凰山の麓には、漆塗の箱に入った埋蔵金が隠されているとも、何個もの大かめに漆を入れて埋めてあるともいわれ、昭和の初期に、長木の人が馬を放したら、足に漆をつけて帰ってきて大騒ぎになったことがあるという。

秋葉山にまつわる話

神無月（十月）に出雲へ出掛ける神々を送る狐火が、九月の末になると秋葉山から柄沢の稲荷様まで、点点と続いて柄沢一帯にともったという。

（大館市史第四巻より）

われらサークル仲間

新生クラブ

天下町の団地ができた昭和四十一年ごろ、町内の青年会である「新生クラブ」が結成されました。現在の会員は二十六人で、長木地区の野球大会やバレーボール大会、ソフトボール大会に参加したり、町内では盆おどりやお祭りにみこしを出したり、地域の美化運動などの活動をしています。

このうち、スポーツでは、長木地区の大会で数多くの優勝をかざっています。春の野球大会では、ここ数年連続優勝。また、六十年には長木地区代表として大館市地区対抗野球大会に参加、みごと優勝しました。

同会では、毎月十五日例会を開いていますが、いつも、地域の生活環境とか、地域住民の交流について熱心に話し合いを続けています。

会長の本間孝一さんは「私たちの会は、会員の年齢に幅があるため、たまに会員間での話し合いにギャップができます。若い人たちが先輩の体験談を聞くことにより、人生にプラスとなっていることもあります。また、大きな町内のわりには会員が少ないため、もっと多くしていかなければなりません」と話していました。

▶大館市地区対抗野球大会で優勝したときの記念写真

次回は「城西地区」編をお送りします。